



農業高校で飼育された和牛の肉質と日頃の取り組み内容を競う全国大会

和牛甲子園通信

2024/1/12

04号

第7回和牛甲子園

- 大会ポスター・シンボルキャップのご紹介
- 初出場校インタビュー
- 特別講話者情報

“高校牛児”のみなさん、大会まで残り1週間となりましたが準備はいかがでしょうか。今回は初出場校インタビュー、当日ゲストの紹介です。寒い日が続きますが、体調管理をしっかり行いましょう。

■大会のポスター・シンボルキャップが完成しました。

農業高校で飼育された和牛の肉質と日頃の取り組み内容を競う全国大会

One for all All for 和牛!

開催日 2024 1/18 THU - 19 FRI

1日目 和牛飼育体験発表・2日目 和牛枝肉共進会
開催場所 東京都中央卸売市場食肉市場・品川グランドホール (THE GRAND HALL)

第7回和牛甲子園ホームページ
大会の様子はこちらでもご覧いただけます。

史上最多！全国25道府県41校59頭がエントリー！

主催 JA全農 全国農業協同組合連合会 (JA全農)
後援 文部科学省、農林水産省、独立行政法人農畜産物振興機構、独立行政法人農研機構センター、東京農工大学農学部、東京海洋大学株式会社、全国農業高等学校校長会、日本学校農産物クラブ連盟、公益財団法人畜産学術振興会、公益財団法人畜産学術振興会、一般社団法人畜産振興会、一般社団法人畜産振興会、JA全農ニッポンフーズ株式会社



歴代キャップ
並べてみました！

今大会のシンボルカラーである「青」に統一しました！当日は、高校牛児のみなさんにシンボルキャップをプレゼントします！ぜひ、実習・部活動等にご活用ください。

■ 初出場校インタビュー① (福岡県立糸島農業高等学校)



糸島農業高校について 教えてください

福岡県の西部に位置する糸島市は、県内有数の農業が盛んな地域です。本校では令和4年に「動植物活用科」が新設され、牛やヤギなどの産業動物のほか、ウサギやミニブタなどの社会動物も飼育しており、人間と動物における生活の質向上や、地域振興の担い手となる人材を育成しています。

牛を飼育する上でのこだわりは？

牛は話すことができないため、牛が快適に過ごせるように、なにをすれば良いか常に考えています。本校では稲作もしており、生産した稲わらを牛たちに与えています。わらを泥汚れやカビがつかないように、最高の状態で収穫しているため、牛たちはいつもおいしそうなお表情で食べてくれます！

将来の目標・夢を 教えてください！

国際情勢の変化で飼料価格が高止まりしています。そのような環境下で畜産経営を安定させるためには、資源を有効活用し、安定的に飼料を確保することが必要です。私たちは牛糞から堆肥をつくり、収穫後の田んぼに散布し、再びお米とわらを収穫します。ひとつの地域のなかで資源を循環させることで、牛も人もよろこぶ街にしていきたいです。



森内さん・木下さん・向井さん

初出場に向けた意気込みをどうぞ！

大会への出場をきっかけに、牛や飼料について調べ、畜産業を取り巻く環境や、地域の課題について考えるようになりました。大勢の人たちの前で発表することは緊張しますが、私たちが初出場に向けて牛とともに取り組んできた内容を伝えていきたいです！

■ 初出場校インタビュー② (大分県立久住高原農業高等学校)



久住高原農業高校について 教えてください

本校は、くじゅう連山の南麓に位置し、約600mの高原地帯で畜産業が盛んな地域です。畜産教育の特色を活かして活動する「うし部」は、2017年、2022年に開催された全国和牛能力共進会に2大会連続で出場しました。

また、本校は環境保全型農業に取り組み、野菜の有機栽培に力を入れており、安心・安全な農作物生産を目指し、「JGAP」、「ASIA GAP」、「グローバルGAP」認証を取得しています。

牛を飼育する上での こだわりは？

三輝（みつき）に会う時は欠かさず「愛してるよ」と言っています。三輝に伝わっているといいです。（笑）本校では、肥育が初めてなので4つの施設で研修を受け、餌の配分や添加物等を給餌しました。こだわりとしては、ルーメン内のphが酸性に傾かないように、粗飼料の給餌と濃厚飼料の給餌の時間を約1時間空けています。



今村さん・永富さん・内田さん

将来の目標・夢を教えてください！

今村さん：ペット系の専門学校に進学したいと考えています。

将来の目標は、大分県の犬、猫の殺処分率をゼロにすることです。

永富さん：家業である和牛繁殖経営に携わり、人工授精師の免許を取得したいと思います。

内田さん：将来はムツゴロウさんみたいな動物大好き人間になりたいです。

初出場に向けた意気込みをどうぞ！

今村さん：出場が決まった時、楽しみな気持ちが大きかったものの、「三輝」の発育を見るにつれ、緊張や不安な気持ちが大きくなりました。初めての経験でうまく行かないことも多いですが、上を目指す気持ちはどこにも負けていません！今年取組評価部門のみの参加ですが、来年度の枝肉評価部門では「三輝」を最高の状態に仕上げ、おおいた和牛を全国に知ってほしいです。

永富さん：肥育のことについて何もわからない状態だったものの、地域の方々に研修を通してたくさんの方々に教えていただきました。

「三輝」を最高の状態に仕上げ、優勝を目指したいです。

内田さん：肥育は初挑戦で何もわからない状態だったものの、地域の方々に協力していただき、たくさん教わった知識を生かして頑張りたいです。

■ 当日講話者情報！当日のゲストを簡単に紹介します。

①先輩“高校牛児”による進路講話 【1日目 15:30登壇予定】



中養母さん



上田平さん



宮下さん

今回のOB・OG講話は、第3・4回大会総合部門 最優秀賞受賞校「鹿児島県立市来農芸高等学校」の卒業生3名に登壇いただきます。内容は、進路・職業選択のためのケーススタディーをお願いしているので、OB・OGの実体験をぜひ参考にしてください。

②特別授業 世界で活躍中！「着物ブッチャー」による講演【2日目 11:30登壇予定】



「着物ブッチャー」 渡邊様

みなさん「着物ブッチャー」をご存じでしょうか。今回は、和牛の文化と魅力を世界に広げるべく活動している「着物ブッチャー」こと渡邊麻莉夏様に登壇していただき、現在の職業・活動内容、和牛の魅力、海外における和牛マーケットの今後の可能性について等、お話ししてもらいます！お楽しみに！

和牛甲子園webサイト <https://wagyukoushien.com/>

